

報道関係各位

LPI-J No. 20210301

2021年3月1日

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

**世界標準の技術力を認定する Linux 技術者認定「LinuC（リナック）」Ver. 10.0 の
「英語版」を3月1日リリース！
～ クラウド・DX時代のすべてのIT技術者に必須の認定 ～**



open your **NEXT** future

LPI-JAPAN

オープンテクノロジー技術者認定機関としてLinux技術者認定「LinuC（リナック）」などを実施する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン（以下：LPI-Japan、東京都千代田区、理事長 鈴木 敦夫、<https://lpi.or.jp>）は、この度、クラウド・DX時代に必須のIT技術力を認定するLinux技術者認定「LinuC（リナック）」の「レベル1 Version 10.0」と「レベル2 Version 10.0」の「英語版」をリリースすることを発表します。Version 10.0の英語版は、2021年3月1日より日本を含む全世界にて受験可能です。また、英語版のリリース後「1か月間（2021年3月31日まで）」は、旧バージョンの英語版もご受験いただけます。

【出題範囲改定の背景と特長】

現在、様々な分野でIT技術が活用され、ネットワークを介して繋がり、クラウドを活用したシステムと連携することで新たな価値を生み出しています。これを実現する主要技術はLinuxを始めとするオープンソースから生まれており、IT技術者として必須の知識となっています。

その主要技術の中でも特に注目を集めているのが、クラウドを実現する仮想化技術やコンテナ技術、クラウド利用時のセキュリティ技術です。The Linux Foundationの「The 2018 Open Source Jobs Report（注1）」のグローバル調査によると、IT技術者採用マネージャーが求める専門知識として、クラウド、コンテナ、セキュリティが上位3位を占めています。また、この技術を支える統合運用管理や自動化などのLinuxを越えた領域のオープンソースの知識も必須になってきています。

LinuC（リナック）Version 10.0は、ITの現場で活躍する多くの技術者によって開発され、その出題範囲はLinux技術をベースにクラウド、コンテナ、セキュリティなどの領域に必要な技術要素に対応しています。

このため、LPI-Japanでは、国内外問わずより多くの技術者の成長に貢献していくために、世界標準の技術力を証明するIT認定として「LinuC（リナック）レベル1 Version 10.0」と「LinuC（リナック）レベル2 Version 10.0」の「英語版」をリリースします。

「LinuC（リナック）Version 10.0」には次のような特長があります。

LPI-Japan 事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング9階 TEL : 03-6205-7025

<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org> <https://oss-db.jp> <https://html5exam.jp> <https://accel-exam.jp> <https://opcel.org>

- 1) クラウドやDX時代を見据えた実践的かつ本質的なIT技術力を証明できる。
- 2) インフラエンジニアに留まらず、クラウドシステム開発やアプリケーション開発、クラウドサービス開発、運用やサポートにかかわるエンジニアなど、幅広いIT技術者に有効。
- 3) 詳細な出題範囲で学習ポイントが分かりやすく、受験者にストレスを与えない素直な出題方式。

技術者はこのような特長を有するLinux技術者認定「LinuC（リナック）Version 10.0」を取得することで、ITの現場で活躍・成長するために必要な技術力を効率的に身に付けることができ、自ら考え行動できるIT技術者として様々な分野で活躍できるキャリアを目指すことができます。

LPI-Japanは、より実践的で即戦力となる卓越したIT技術者の育成を支援してまいります。

【「LinuC レベル1 Version 10.0」と「LinuC レベル2 Version 10.0」の概要】

認定名（英語）：LinuC Level 1

LinuC Level 2

		新バージョン (Version 10.0)
試験予約サイトの表示名 (英語)	101 試験	試験番号: 101-1000 試験名: LinuC-1 Exam 101 Version 10.0
	102 試験	試験番号: 102-1000 試験名: LinuC-1 Exam 102 Version 10.0
	201 試験	試験番号: 201-1000 試験名: LinuC-1 Exam 201 Version 10.0
	202 試験	試験番号: 202-1000 試験名: LinuC-1 Exam 202 Version 10.0

【「LinuC レベル1 Version 10.0」と「LinuC レベル2 Version 10.0」の出題範囲概要】

	主題		主題
レベル1 101 試験	Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用	レベル2 201 試験	システムの起動とLinuxカーネル
	ファイル・ディレクトリの操作と管理		ファイルシステムとストレージ管理
	GNU と Unix のコマンド		ネットワーク構成
	リポジトリとパッケージ管理		システムの保守と運用管理
	ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム		仮想化サーバー
レベル1 102 試験	シェルおよびスクリプト	レベル2 202 試験	コンテナ
	ネットワークの基礎		ネットワーククライアント管理
	システム管理		ドメインネームサーバー
	重要なシステムサービス		HTTPサーバーとプロキシサーバー
	セキュリティ		電子メールサービス
	オープンソースの文化		ファイル共有サービス
			システムのセキュリティ
			システムアーキテクチャ

※ Version 10.0 の出題範囲（英語）の詳細は、下記をご覧ください。

- ・ レベル 1 101 試験（英語）：<https://linuc.org/en/linuc1/range/101.html>
- ・ レベル 1 102 試験（英語）：<https://linuc.org/en/linuc1/range/102.html>
- ・ レベル 2 201 試験（英語）：<https://linuc.org/en/linuc2/range/201.html>
- ・ レベル 2 202 試験（英語）：<https://linuc.org/en/linuc2/range/202.html>

【認定試験概要】

- ・ URL（英語）：<https://linuc.org/en/>
- ・ 受験予約（英語）：<https://www.pearsonvue.com/linuc>
- ・ 受験料： ¥16,500（税込）/1 試験（日本での受験の場合）
\$150（税含まず）/1 試験（日本以外での受験の場合）
- ・ 受験可能な言語： 英語、日本語
- ・ 問題数：60 問/1 試験
- ・ 試験時間：90 分（簡単なアンケート含む）
- ・ Version 10.0 がリリースされてから「1 ヶ月間（2021 年 3 月 31 日まで）」は、旧バージョン（レベル 1: Ver.4.0、レベル 2: Ver.4.5）も受験することができます。この期間は、受験者は、新旧いずれかのバージョンの試験を選択して受験することができます。
- ・ バージョンに関係なく、101 試験と 102 試験に合格すれば、LinuC レベル 1 に認定されます。
例：101 試験は旧バージョン（Ver. 4.0）で合格し、102 試験は Version 10.0 で合格した場合。

【試験予約サイト】

LinuC はピアソン VUE より日本を含む全世界にて日本語、英語にて配信され、日本国外のテストセンターでの受験も可能です。ピアソン VUE の LinuC の試験予約サイトは、下記をご覧ください。

<https://www.pearsonvue.com/linuc>

（注 1）

出典元：「The 2018 Open Source Jobs Report」The Linux Foundation

<https://www.linuxfoundation.jp/publications/2018/06/open-source-jobs-report-2018/>

【登録商標】

・ 記載されている試験名の固有名称およびロゴは、LPI-Japan が利用許諾を受けた商標または登録商標です。

●報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局

TEL : 03-6205-7025 / E-mail : press@lpi.or.jp

LPI-Japan について

LPI-Japan は、日本での Linux の技術力認定試験の普及と IT プロフェッショナルの育成のため 2000 年 7 月に設立され、現在は対象を広げ OSS のデータベースソフトウェア、クラウドソフトウェア、および HTML5 のプロフェッショナルのための認定試験を実施する NPO 法人です。

LPI-Japan は、オープンテクノロジーの分野で IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立場で公平かつ厳正に運営することを通じて、IT プロフェッショナルの育成、さらにはオープンテクノロジーに関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 (<https://lpi.or.jp>)

法人名: 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

所在地: 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 9 階

連絡先: TEL: 03-6205-7025

設立: 2000 年(平成 12 年)7 月 28 日

ミッション: オープンテクノロジーの技術者認定試験の実施を通して、IT プロフェッショナルの育成と価値向上、活躍を支援し、社会に貢献すること

業務内容: IT プロフェッショナルの認定活動を通じた技術者育成と OSS/HTML5 等のオープンテクノロジーの普及・推進

理事長: 鈴木 敦夫

理事: 菅沼 公夫 日本電気株式会社

中野 正彦 サイバートラスト株式会社

片桐 和宣 株式会社日立製作所

松下 文男 富士通株式会社

丸茂 晴晃

監事: 寺本 振透 九州大学 大学院法学研究院教授

LPI-Japan プラチナスポンサー:

下記 URL の「LPI-Japan プラチナスポンサー」は、LPI-Japan の活動に賛同・支援する企業です。

<https://lpi.or.jp/sponsor/list/>

LPI-Japan ビジネスパートナー:

下記 URL の「LPI-Japan ビジネスパートナー」は、Linux/OSS マーケットの拡大に積極的に貢献する取り組みをしている企業です。

<https://lpi.or.jp/bp/list/>

LPI-Japan アカデミック認定校:

下記 URL の「LPI-Japan アカデミック認定校」が、「LinuC」に対応した教育を提供しています。

<https://lpi.or.jp/school/list/>

LPI-Japan 認定教材 (LATM) :

下記 URL の「LPI-Japan 認定教材 (LATM)」は、「LinuC」の出題範囲に添って作成された教材として、LPI-Japan が認定した教材です。

<https://lpi.or.jp/linuc1/book.shtml>

<https://lpi.or.jp/linuc2/book.shtml>